





# <令和8年度 災害発生時の対応（保護者用）>

児童は保護者のもとに返すことを前提に学校は対応します。

下野市立細谷小学校

	◆雷・ゲリラ豪雨など突然の天気変化が起こった場合の下校	
在校中 	①児童は、家庭科室（体育館）で待機 ②学童保育利用者は学童へ、帰宅予定者は保護者へ児童を引き渡し メールや電話にて連絡。 （メールや電話が繋がらない場合も、保護者や家族が迎えにくる。） ③引き渡しができない場合 児童は迎えが来るまで学校で待機	
	◆震度5強以上の地震が発生した場合	◆突風等が発生した場合
登校前・在宅中 	①自宅待機（安全な場所で） ②登校時や登校後の危険が予想される場合 臨時休校 メールや電話にて連絡。 （メールや電話が繋がらない場合は、正午までに連絡が無ければ臨時休校と判断。） ③学校施設等に被害がない場合 授業再開 メールや電話にて連絡。  ★児童は必ず学校からの連絡を受けてから登校させる。	①自宅待機（安全な場所で） ②登校時や登校後の危険が予想される場合 臨時休校 メールや電話にて連絡。 （メールや電話が繋がらない場合は、正午までに連絡が無ければ臨時休校と判断。） ③学校施設等に被害がない場合 授業再開 メールや電話にて連絡。  ★児童は必ず学校からの連絡を受けてから登校させる。
登下校時 	①「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所に身を寄せる。 ②学校か自宅か近いところに避難  ★安全な避難場所について、家庭で話し合っておく。	
在校中 	①保護者へ児童を引き渡し メールや電話にて連絡。 （メールや電話が繋がらない場合も、保護者や家族が迎えにくる。） ②引き渡しができない場合 児童は迎えが来るまで学校で待機  ★学童保育も利用できない。	①活動続行が不可能、下校が危険な場合 保護者へ児童を引き渡し メールや電話にて連絡。 ②引き渡しができない場合は 児童は迎えが来るまで学校で待機  ★学童保育も利用できない。

※「震度5強」は「下野市」の値とする。「震度5強」の地震発生で、下野市災害対策本部が開設される。

※ NTT災害用伝言ダイヤルにも学校の情報を登録するので、電話が使える場合には、そちらでも確認できる。

### [伝言の再生]

- ① 1 7 1 にダイヤルする → ガイダンスが流れる
- ② 2 をプッシュする → ガイダンスが流れる
- ③ 学校の電話番号を市外局番からダイヤル（0285-52-1133）し、伝言を再生する  
（新しいメッセージから再生される）

※ 突風等発生時の判断は、目視によるところが大きいため、発生場所近くでの判断が必要となる。また通過範囲が限定されるため、市内一律ではなく学校毎に、状況を判断し対応することになる。